

広報 新潟水協

平成25年 4月24日
新潟水泳協会
藤見町 2-3-47
木村 伸明
TEL・FAX(025)270-4140

共立印刷株式会社

愛～信頼～絆

会長 松山正男

大阪市立桜宮高校バスケット部の主将であった男子生徒が、顧問の先生の体罰を受けた後に、自殺した問題を契機に、スポーツ指導があらためて問われていることはご存じの通りです。更には、全日本柔道連盟の女子選手15人による、監督の暴力行為がクローズアップされるに及んでは、スポーツと体罰問題が大きく取り上げられている。我々はこれまで暴力にきわめて甘い社会で暮らしてきたと言っても過言ではなからう。

私は小学校時代のことを考えてみると、少し「お茶目」な行動をとったりすると、「放課後に教室に居残り」を命ぜられた。ちょっと「ヤンチャな行為」をすると、「清掃活動」をさせられた。或いは授業に熱心な態度に欠けていると見なされると「教室内の後」に起立させる。「水の入ったバケツを持って立つ」などということがよくあった。又家庭でも、手にあまると「先生にいいつける」又は「おまわりさんにしばってもら」などの暴言を平気で使っていたことを思い出す。今でもこれらのことは、体罰には当たらないと考えている向きが多いようである。

スポーツを指導する人達の中には「情熱的」と評価される人が多いように思われるし、又それを許容する雰囲気も横溢している。

或る有名な指導者は、スポーツを指導することを通して「人間形成」をはかることであり、単に勝敗にこだわることではない。これを忘れたら指導者と

して「信頼」されることはないと言い切っている。

又、指導者側には、「愛のムチ」という言葉がよく使われる。スポーツを指導する者に「愛のムチ」などという考えがある限り、体罰問題はなくならないと思っている。「愛のムチ」ではなく「ほめること」「認めてやること」「相談にのってやる」「わからないところをわからせる」など、こうやってやれば、子ども達にとっても、やり甲斐が起こり、更には真剣に頑張ろうとする意欲が起こると思う。

「教える者」に「教わる者」がなんでも相談できる雰囲気（信頼）を作ること、大切なことだと思う。お互いに今までやってきたこと、現在やってきたことを反省し、更に研修を深め、子ども達に、よりわかりやすい指導ができる工夫をすることが大切だと思う。

新潟水泳協会で、これにもっとも身近に感じる部は、普及部であり、強化部であると思う。良い選手を育てると思うならば、愛情を基本に置いた指導をすることで、信頼関係が生まれ、更には強固な絆が出来、よりよい人間形成がはかれることを念頭に置いて、全員が一致して素晴らしい新潟水泳協会を作り上げて行きたいものだと思っている。

協会員、保護者の方々と力を合わせて次世代を担う素晴らしい子ども達を作るために、より一層の精進と団結をされるよう願っております。輝かしい平成25年度に向かって。

私と水泳

アフラス豊栄 成人コース 青山 裕一

私は54歳の男性です。昨年11月から水泳を始めました。今まで走るのが楽しくて陸を走っていたものの、腰痛などでだんだん遠ざかり、職場までの自転車通勤が唯一の運動となっておりました。

従妹が40歳半ばでトライアスロンを始め、村上トライアスロンに参加するとの事で、見学を兼ねて応援に行き参りました。スタート前の集合地点で夏を惜しむ強い光の中で、皆楽しそうなのです。スポーツ出来る喜びを感じているように思い、私も泳げたら、もしかしたらトライアスロン参加できるかもという考えが心の隅に芽生えました。大会終了、従姉妹との夜の祝勝会で、「泳ぐの簡単よ！」の一言と共に後日、「簡単スイミング」なる一冊の本が送られてきました。従姉妹も健康管理から始めたスイミング教室からのトライアスロンだそうです。ま

ずは、水泳か！「アフラス豊栄」なるスイミングクラブが近所にあり、元気な子供達の活気に押されて私のスイミングライフが始まったのです。平泳ぎはそこそこ泳げますが、クロールなど全く縁のないもので、教本を読みながら50メートル泳いでは休み、また休み、と続けた結果ついにクロールで1500mいけるようになりました。毎日少しづつ上達していくのが楽しくてたまりませんが、最近、何か泳ぎが人と違うのを感じ、速さを求めるわけではないのですが、何か隣のジュニアと違い、壁にぶつかったのでしょうか。

明日もまた、この違いを求めて通い、そして運動できることに感謝、毎日運動できる環境に感謝、スタッフに恵まれたことに感謝し、長く続けていこうと思います。

今年の抱負

スウィン大教スイミングスクール新潟

新井 杏奈

私の今年の目標は、ジュニアオリンピック（以下JO）に出場することです。そのために成長しなければならないことが二つあります。

一つ目は、キックを強くすることです。私はキックが弱いので後半、タイムが伸びません。ハード練習を通してキックを強くすることで、今までよりもスイムが速くなると思います。

二つ目は、気持ちを強く持つことです。私は春のJO最終予選で、あと少しの所で基準タイムを突破することが出来ませんでした。決勝に残りましたが、あまりのプレッシャーで緊張し、自分の力が出せませんでした。これからは「絶対に負けない」という強い気持ちを持って試合にのぞみます。

私の将来の夢は、水泳のオリンピック選手になることです。北島康介選手のような世界で通用する、トップスイマーになりたいです。目標に向かって日々練習にはげみ、まずは夏のJOに出場します。

スウィン大教スイミングスクール新潟

佐々木蒼平

歩けるようになる前から水泳を習っていたぼくがずっと目指してきたジュニアオリンピックに、今年の春、出場できることになりました。種目は二百メートル個人メドレーと五十メートル自由形、そして十才以下の二百メートルフリーリレーです。

なかでもタイムがきれてうれしかったのはフリーリレーです。チームの代表として選ばれて、みんなでたたかう種目だからです。

仲間といっしょのリレーは安心して泳げます。だからいつもよりがんばれるような気がします。

先日、コーチが、「JOでメダル取ったらごちそう食べさせてやる。」と約束してくれました。だから四人で力を合わせ、なんとしてでもメダルをかくとくして、みんなでおなかがばんばんになるまでごちそうを食べたいです。

そのためには食事と睡眠をしっかりとり、練習をがんばって力をつけて表彰台の真ん中に立てる選手になりたいです。

クラブ 紹介

新潟大学水泳部

新潟大学学友会水泳部 主将 佐藤卓磨

新潟大学水泳部は現在21名（内男子14名、女子6名、マネージャー1名）で活動しています。普段の活動は月曜日から土曜日の1日1回週6回練習で、主にアクシー中央のプールをお借りして朝5時20分から1時間40分程度行なっています。朝早い時間の練習ですが、個々の意志の強さや目標へ向かう意気込み、チームに貢献する意欲が試されるのではないかと考えています。

部の運営は、幹部学年を中心に学生主体で行なっていますので、出場大会・練習計画・練習メニューなど、あらゆることを自分たちで話し合い、決定するようにしています。練習メニューに関しては選手からの意見を取り入れながら、限られた練習環境の中でいかに効率よく競技力を向上させるかを常に相談し、メニュー作成係が作っています。

練習中は部員全員が声を出して盛り上げ、互いに鼓舞し合って高め合えるような環境を重視しています。近年、特に力を入れているのは、他大学との合同練習です。昨年度は京都大学との年末合宿に始まり、東京大学や神戸大学とも実施しました。一緒に練習するだけでなく、人として交流する機会にもなり、大変有意義な時間となっています。

また、新潟大学教育学部主催の「何でもスポーツプロジェクト」の一つのコースである「スイムクリニック」という地域の方々へ泳法指導をする活動にも協力しています。泳法指導の難しさを体感することで、自分の泳ぎを見つめ直す良い機会となっています。

さらに、昨年9月には、卒業生を対象とした「活動報告会」を開催致しました。現在の水泳部の活動をOB・OGの方々から知っていただき、様々な年代のOB・OGの方々から貴重なお話をお聞きし、交流できたことで、これからの水泳部に活かせることを多く学ぶことができました。今回は、ホームページ上での呼びかけだけでしたので、今後もこの活動報告会を続けながら、もっとたくさんさんのOB・OGの方々と交流する機会を持ちたいと思っております。

我々水泳部は、競技力の向上だけでなく、水泳部での多方面にわたる経験を通して人間的にも成長できるよ

うな部活を目指しています。日々の活動はホームページ、ブログ等でほぼ毎日発信しておりますので、是非ご覧になって下さい。(http://niigatauswim.ifdef.jp/)

今後とも新潟大学水泳部をよろしくお願い致します。

<昨年度の主な戦績>

1) 中部学生選手権

団体 男子総合4位（インカレ団体権獲得）、
国公立の部優勝
女子国公立の部2位

個人 男子100mバタフライ

長堀一輝（4年）優勝 石塚俊亮（4年）3位

2) 全国国公立大学選手権

団体 男子総合6位

女子総合13位

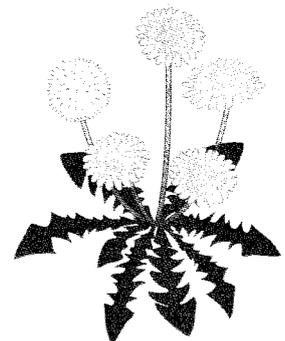
男子400mメドレーリレー3位

個人 男子100mバタフライ 長堀一輝（4年）2位

3) 日本学生選手権

個人 男子100mバタフライ

長堀一輝（4年）予選9位 B決勝3位



平成24年度 総務部事業報告

事務局 木村 伸明

◇総会

平成24年度総会（H24. 4. 21）新潟会館

1. 各部の報告と事業予定承認
2. 平成23年度決算及び24年度予算承認
3. その他
 - ・県水連競技委員会報告
4. 懇親会

◇理事会

第1回理事会（H25. 3月）西海岸プール

- (1) 各部の事業報告
- (2) 予算、決算
- (3) その他
 - ・H25年度役員改正について

◇大会関係（主催の大会）

1. 新潟市年齢別選手権（H24. 8. 26）

- ・参加選手 チーム535名 個人114名 計649名
- 例年同様、男女年齢別（8歳以下A～84歳Rまで5歳きざみ）で種目別、個人対抗及びリレーはチーム対抗で競技を行い、順位を決定した。参加人数は、昨年より若干減少し649名となった。申込段階でコンピュータの年齢区分に不具合が生じており、その修正のため記録の収集や掲示、賞状の配布等に関しては、例年に比べ遅れが出てしまったが、特に大きな問題とはならなかった。

大会当日は猛暑であり、熱中症が心配されたが、冷房設備が整っている屋内プールが休憩場所として開放されていたので、選手・応援保護者とも適宜利用し、大事に至ることはなかった。新記録も多く出され、夏を締めくくるよい大会となった。

2. 新水協親善公認記録会（H24. 11. 23）

- ・参加選手 555名
- 今年度は長岡親善大会と期日が重なるため参加人数が大幅に減少すると考えられたが、30名減の555名という予想以上の参加人数であった。

昨年度は途中機械トラブルがあり、それを巻き返すために、後半はとても慌ただしい競技進行となり、選手の集中力が高まらなかったという反省を踏まえ、選手最優先の時間にゆとりのある大会運営に努めた。その結果、大会新記録10、大会タイ記録1と好記録が続出した。

平成25年度の当協会の主催・共催・主管する水泳競技大会（会場は全て西海岸公園プール）

大会	日時	主催
新潟県マスタースフェスティバル	4月21日(日)	スイミングクラブ協会
新潟県障害者水泳大会	5月26日(日)	障害者スポーツ協会
新潟県小学生室内選手権	6月9日(日)	県水連
第28回 NST 新潟県小学校選手権水泳大会	7月21日(日)	県水連
新潟市年齢別選手権水泳競技大会	8月25日(日)	新潟市、新潟水泳協会
新水協親善公認記録会	11月23日(土) 勤労感謝の日	新潟水泳協会
JSCA 新年フェスティバル	1月12日(日) 13日(月)	スイミングクラブ協会
JOC 新潟県予選会	2月1日(土) 2日(日)	県水連

平成24年度の反省と 平成25年度の活動計画

競泳強化部

◇平成24年度の反省

- 1 通年の強化練習について
 - ① 計画通りに強化練習を行い、全体的には成果が上がっている。しかしながら、県全体のレベルアップを考えると、平成24年度以上の練習時間の確保が必要である。
 - ② 夏休みなど学校の長期休業中にも2部練習等効果的な練習を行うことができた。
 - ③ 小学生、中学生、高校生とも新潟県の上位で活躍する選手が育ってきているが、例年に比べて、北信越・全国大会出場者が減少し、物足りない結果となっている。
 - ④ 普及部からの選手勧誘など成果を上げている

反面、高校進学時における選手の定着に課題がある。

- ⑤ 大学進学後も競技を継続し、国体入賞・日本選手権出場を目標に練習を継続する選手を輩出。

2 合宿について

(1) 目的

泳力およびチームワーク・選手としての意識の向上

(2) 実施時期・会場

- ① 5月連休合宿（ダッシュ新津・新潟医療福祉大学）
- ② 年末合宿（西海岸公園市営プール・新潟医療福祉大学）

(3) 成果

- ① 合宿後の大会等では、記録向上が見られ、大きな成果を上げている。
- ② 選手としての自覚だけでなく、集団生活における協力性・責任感などが育ってきている。
- ③ 小学生中学年から高校生までの異年齢集団であるが、高校生が全体のまとめ役としてリーダーシップを発揮するよい機会となった。以上のことから、今後も合宿は継続して実施したい。

3 試合等について

(1) 試合後 1年間に15~20試合に参加

(2) 年代別の成果

- ① 大学生 ジャパンオープン出場
- ② 高校生 北信越・県大会入賞
- ③ 中学生 県大会入賞
- ④ 小学生 BSN・NST 大会入賞

(3) 県ランキング 各年代でランキング入りした選手数はやや減少。

(4) 平成25年度も小学生から大学生までの各年代で活躍が期待できる。

4 今後の願望

- (1) 全国大会入賞に向けた選手の発掘・育成
- (2) スイミングスクール、中・高体連等との合同練習
- (3) 指導者の転勤等に関わる不安定要素の解消

◆平成25年度活動方針（案）

1 通年の強化練習について

- (1) 毎週火曜日～土曜日 17：30～21：00の時間帯で *土曜日（午前）等を活用し、合同練習
- (2) (1)以外にも土日や長期休業中の特別練習を計画
- (3) 中・高体連やスイミングスクールとの合同練習を計画

2 合宿等について

(1) 実施時期

5月連休、年末年始、通常の土日を使ったミニ合宿

(2) 場所

新潟市およびその近郊

3 試合について

(1) 参加する試合の選択

- ・大会のレベル・規模等を考慮して参加する。
- ・全国大会の出場を目標とするので、その予選会には全て参加する。

4 その他

- ・県水連との連携をはかりながら活動を進めていく。
- ・普及部からの積極的な選手勧誘。
- ・コーチの確保に毎年苦慮している。選手の指導と仕事の両立が難しい。

<主な大会日程>

月	大会名	月	大会名
4	29日ダッシュ新潟水泳記録会	10	11日市内中学総体、13日県スプリント
5	12日ミドルディスタンス選手権、21日高校地区大会	11	23日新水協親善記録会
6	1日県中体連記録会、2日国体予選、9日小学室内選手権、11~12日市内中学、21~23日高校県大会	12	
7	3~4日中学地区、19~21日高校北信越、21日小学NST、25~26日中学県	1	12~13日新年フェスティバル

月	大会名	月	大会名
8	6日中学北信越、11日小学BSN、17~21日インハイ、全中21~23日、26~30日JO夏季、26日新潟市民大会	2	1~2日JO予選、9日長岡室内選手権、チャンピオンシップ
9	6~8日インカレ、13~15日国体、20日高校秋季県	3	26~30日JO春季

*この他にも大会が入ることがある。

SC部24年の活動報告・ 編成と25年度の目標

SC部 松木 保

◇平成24年度の活動

1) 競技会

期日	競技会名	会場
4月8日(日)	第56回BC級大会	アクシーひがし
4月22日(日)	第18回マスターズフェスティバル	西海岸プール
5月27日(日)	第23回クラブ対抗大会	柏崎アクアパーク
6月24日(日)	第37回信越AG大会	柏崎アクアパーク
7月8日(日)	第55回A級大会	JSS長岡
11月4日(日)	第57回BC級大会	JSSジャンボ
1月13日(日) 14日(月)	第39回新年フェスティバル	西海岸プール

2) 水中介護予防事業・勉強会

期日	名称	会場
10月21日(日)	水中介護予防勉強会	アクティスらんなん
7月15日(日)	研修会	ダッシュ競泳館
3月10日(日)	水中介護予防勉強会	AFAS豊栄

3) 民学協働イベント「水中運動体力づくり教室」

5月13日(日)~9月30日(木) 新潟市6区6会場

故大黒善弥先生は、お会いするたびに「新潟市から強い選手出さんばダメラ」とおっしゃっていました。その言葉には、これまで他の市からはオリンピック選手が誕生しているのに新潟市からはひとりも出ていないことへの嘆きと、われわれスイミングクラブへの期待が入り混じっていたように思います。

その期待に反し、小学生から中学生までは順調に競技力が伸びるけれど、高校生になると伸び悩んでしまうという新潟市の現状は20年以上前から変わっていないように思います。これにはもちろん指導者側の責任もありますが、それ以上に高校進学後迷いなく水泳に打ち込める環境が少ないことも確かです。

新潟市も平成27年度からスポーツなどに優れた生徒を対象とした特別推薦選抜制度を実施することになったと聞きます。

この制度改革を追い風に、小学生から高校生、さらには大学生まで先細ることなく新潟市から優秀な選手を輩出できるよう努力してまいります。

日本泳法部平成24年度の 報告と25年度の目標

日本泳法部 松田 彰

☆泳法教室 3期30回開催

春期 4月~7月 10回

秋期 10月~12月 10回

冬期 1月~3月 10回

1月3日 新年初泳ぎイベント開催

テレビ新聞で報道

☆第9回 関屋浜遠泳大会

7月16日「海の日」参加35名で実施

☆第57回 日本泳法大会

8月18・19(土・日) 横浜国際プールで開催。

泳法競技 男子 金子 裕貴

予選12位で決勝進出 総合15位

泳法競技ジュニア 貴藤ゆりか 2種目41.0 「優」

泳法競技ジュニア 齋藤 彩夏 2種目37.5 「優」

資格審査 練士 中野 智美 「合格」

広野久美子 「不合格」

これにより有資格者は、範士1・練士4・游士4となりました。

☆第14回 日本泳法競技会

11月11日(日) 東京辰巳国際水泳場で開催。

団体泳法競技Cグループ(3名の年齢合計76歳~159歳)出場20チーム「優勝」

チーム名「こちゃん&はあちゃんズ」

出場選手 水島恵子・福田舞子・中野智美
対戦回数・相手チーム・(年齢合計)・対戦成績

1回戦 秋麗C (146歳) 2:1

2回戦	あゆあゆ	(141歳)	3 : 0
3回戦	桐	(85歳)	3 : 0
4回戦	チームするが	(145歳)	3 : 0
5回戦	立川水協 宙	(140歳)	3 : 0

昨年Dグループ(43歳~103歳)優勝に続き二階級制覇を達成

☆第60回 日本泳法研究会

平成24年3月17・18日(土・日) 水戸「水府流」

出席 松田 彰・杉澤葉子・廣野久美子

2011・3・11東日本大震災で中止となり、改めて開催されたが、18日実技披露の公営プールは未復旧のため民間プールで行なわれました。第60回記念にふさわしく、全国各流派の代表的な泳法披露に始まり、90種類に及ぶ泳法を伝書などの膨大な資料を読み解きながら守り伝えている関係者に脱帽でありました。水戸市教育委員会から無形文化財に指定されており、範士10・教士27・練士23・游士13名を擁する層の厚さ奥の深さに歴史・文化を大事にする事の大切さをまなびました。

なお、第61回日本泳法研究会が平成25年3月23・24日(土日)四国の松山にて開催されます。課題は「神伝流」です。報告は次回に譲ります。



24年のシーズンを終えて

シンクロ部 (新潟シンクロクラブ)

大 串 真理子

新潟国体の強化の為に少ないシンクロ人口の中、各地域で少人数での強化をするより、より効率的にレベルを上げる為、長岡と新潟のクラブを統合し、中央コーチの指導の元、強化を計って12年が過ぎま

した。22年の秋からは指導者が地元コーチのみになりながらも、何とかこの体制を維持して強化をしてきました。しかし、新潟国体終了後も国体は毎年開催される訳で選手を国体に通す為には今までと変わらない練習

量と国体までにレベルアップする為の各種競技会への遠征、合宿は変わらず必要です。ところがコーチの職場での立場は新潟国体をピークに厳しい状態になり、今までのような活動は難しくなりました。そこで元々、地元コーチは新潟シンクロクラブのコーチだけだったので元の体制に戻り、それぞれ、各地域で強化活動を行うことにしました。しかし、今までの新潟-長岡の練習通いという厳しい練習体制の中では下からの引き上げが難しく、新潟市在住の選手数を減少させてしてしまいました。昨年はコーチの負担も考え、県外の競技会の参加を1つ減らした結果、競技会で養われる感覚や集中力、体力の低下を痛切に感じたのでその反省を踏まえて、24年度は遠征する競技会を以前よりも1つ増やし、会場の雰囲気や変化に早く対応し、順応できるようにしました。しかし、北信越大会では国体強化後、長年、明け渡すことのなかった3番目の出場枠の座を奪われてしまいました。毎年、デュエット・チーム共に参戦していた全国JOも24年度は人数が足りないでチームが組めず、高校生・中学生のデュエット



も標準点を突破することができませんでした。夏期の練習では西海岸公園市営プールの方々にも協力していただいたにも関わらず、申し訳なく思っております。

それでも日本選手権の次ランクの

大会であるチャレンジカップでは高校生の二人は今シーズン最高の演技で泳ぎ切ることができました。

中学生はレベルの高い大会を応援しながら、見ることができたので多いに刺激になったと思います。

今年度は北信越大会の当番県でもあります。

残念な事に高校生は引退者と退会者がでた為、国体該当年齢者はいませんが徐々に小学生がデビューします。新人、先輩はそれぞれの目標に向かって力を発揮できるように、特に先輩の中学生は今シーズンこそ全国JOに行けるように強化していきたいと思っています。



平成24年度レディース部活動報告

宮崎めぐみ

4月	4/5～7/19	春期水泳教室
5月	27日	新潟県障害者スポーツ大会 (西海岸プール)
6月	5、6日	市中学総合体育大会 (西海岸プール)
	10日	小学生室内選手権大会 (西海岸プール)
7月	4、5日	中学地区大会 (西海岸プール)
	13日	レディース部研修会 (西海岸プール)
	2、4、6、9日	笠木小学校水泳授業
	23、25、26、27日	笠木小学校水泳教室

7月	25、26日	中学県大会 (西海岸プール)
	29日	NST 小学校選手権大会 (西海岸プール)
	30日～8月10日	夏休みちびっこ水泳教室 全10回 (西海岸プール)
8月	24日	レディース部臨時総会・ 秋期割り振り会議 (西海岸プール)
	26日	市民体育祭 (西海岸プール)
9月	1日	レディース部情報交換会
	30日	新潟県マスタース大会 (西海岸プール)
	9/3～12/22	秋期水泳教室
10月	5日	市中学総合体育大会 (西海岸プール)
11月	23日	新潟水泳協会親善記録会 (西海岸プール)
12月	27日	冬期割り振り会議 (西海岸プール)
1月	1/8～3/28	冬期水泳教室
	13、14日	新年フェスティバル (西海岸プール)
2月	2、3日	JOC 予選会 (西海岸プール)
4月	2日	H24年度総会・H25年度 春期割り振り会議 (西海岸プール会議室)

西海岸児童初心者水泳教室

西海岸普及部 山崎 智美

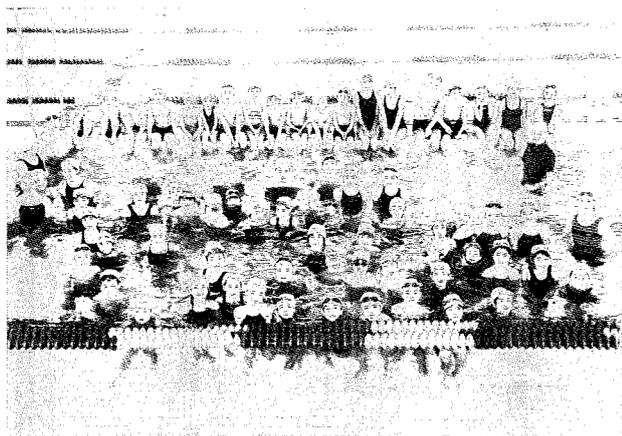
平成25年4月、西海岸プールではまた新年度の児童初心者水泳教室がスタートします。前期は4月～9月、後期は10月～3月で、半年ごとに生徒を募集して、毎週日曜日の朝に小学生120人ほどの生徒を対象に指導を行っています。

私は16年前からこの教室の指導をお手伝いしておりますが、当時はまだ西海岸プールが現在の屋外プールの西側にある古いプールでした。その後、現在のプールに移り、広くきれいなプールで指導できるようになり、生徒も以前よりは多く受け入れできるようになったと思います。

指導をしていると、最初から水慣れができていてスムーズに進んでいく子よりも、初めはなかなか顔を水につけられない子や、癖のあるバタ足でなかなか進まない子など、最初の段階で時間がかかった子供ほどよく覚えているものです。しかし、何年か通う中でどの子もみんな想像がつかないほど上達して、やがて卒業していきます。

毎回、教室の後半に、コースごとの水中写真を撮って生徒に差し上げているのですが、昨年度は教室全体の写真を撮りました。写っている子供たちは日々成長していきますが、体で覚えた水泳は一生ものだと思います。万が一の時に自分の命を守るためにも、水泳教室で学んだことが少しでも役立てることができたらいいなと思います。

私は昨年の夏まで1年間、国家資格取得を目指し指導を休ませて頂きましたが、皆さんのご協力のおかげで無事に合格し、秋からまた指導を再開するこ



とができました。一緒に指導をしている普及部の皆さんに感謝すると共に、私にとって子供たちとの毎週の水泳教室がかけがえのない楽しみだったことを改めて感じています。これからも子供たちと一緒に水泳を楽しんでいきたいと思ひます。

平成24年度HS部活動報告 平成25年度HS部活動予定

相田 陽生

◆平成24年度HS部活動報告

月日	活動内容	会場
5月27日(日)	第13回新潟県障害者スポーツ大会 全国大会予選	西海岸プール
7月29日(日)	第27回 NST 新潟県小学生選手権 水泳大会	西海岸プール
8月26日(日)	新潟市体育祭年齢別選手権 新潟県障害者スポーツ大会 選抜選手参加	西海岸プール
9月30日(日)	第23回新潟県マスタース水泳競技大会	西海岸プール
10月13日(土) ～15日(月)	全国障害者スポーツ大会 新潟市選手3名	岐阜県
11月23日(金)	第8回新水協親善公認記録大会	西海岸プール
H25年 2月2日(土) ～ 2月3日(日)	第35回全国JOCジュニア オリンピック カップ春季水泳競技大会新潟 県予選会	西海岸プール
H25年 2月2日(日)	新潟県障害者水泳記録会	ふれ愛プラザ

◆平成25年度HS部活動予定

月日	活動内容	会場
H25年 5月26日(日)	第14回新潟県障害者スポーツ大会 全国大会予選	西海岸プール
6月9日(日)	小学生室内選手権	西海岸プール
7月21日(日)	第28回 NST 新潟県小学生選手権 水泳大会	西海岸プール
8月25日(日)	新潟市体育祭年齢別選手権 新潟県障害者スポーツ大会 選抜選手参加	西海岸プール
10月12日(土) ～14日(月)	全国障害者スポーツ大会	東京都

月日	活動内容	会場
11月23日(土)	第9回新潟水協親善公認記録大会	西海岸プール
H26年 2月1日(土) ～ 2月2日(日)	第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会新潟県予選会	西海岸プール
2月 日(日)	新潟県障害者水泳記録会	ふれ愛プラザ

【平成24年度を通じて】

新潟県障害者水泳記録会（H25. 2. 24）に、おきましては昨年、一昨年と比べ参加者が増えた中ですが、タイムテーブルや各係りの中で大きな問題もなく、無事に運営出来ました。各部より、色々のご尽力を頂きありがとうございました。

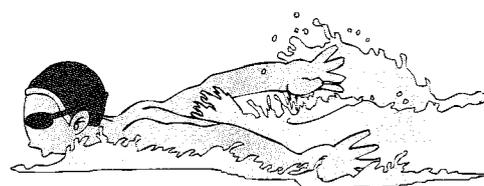
この記録会が来年以降も、少しずつ活気ある記録会になるにつれて、毎年5月に行われます新潟県障害者スポーツ大会（全国大会予選）が盛り上がる事を期待します。



第35回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会結果

12歳の部 50M バタフライ

7位 灰野梨央（アクシー中央）28秒87



編集後記

今年も「ジュニアオリンピック」、「日本選手権」と全国大会が新潟県で開催されました。

これは、施設だけが良いのではなく、競技会に関わる全てのスタッフが日本水泳連盟から評価されている結果！だと自画自賛しています。

またジュニア選手にとっては、憧れの選手の泳ぎを間近で見ることにより、練習に対する取り組みや意識が高まったのではないでしょう

か？

これからの新潟県選手の活躍を期待しています。

<水夢人の皆様へ>

今年も新潟水泳協会への協力をよろしくお願い致します。

そして、「ありがとうございました♪」

広報 樋口 玲子